

ぐんま教育ビジョン実現PJ～「群馬ならではの」新しい学びの形づくり～

群馬県が目指す学び・・・

エージェンシーを発揮する「自律した学習者」を育む学び

人が誰しも持っている自分と社会をより良くしようと願う意思や原動力を生かして、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出すことを大切にしたい教育を目指しています。その中心は、**自己決定、対話・交流、試行錯誤**の場面が充実する、「**児童生徒が「～する」授業**」への転換になりますが、「ニューノーマル GUNMA CLASS PJ」による少人数学級編制を生かした学習形態に加えて、「ぐんま教育ビジョン実現PJ」による一定規模・複数担当を生かした学習形態を選択できるようになったことで、「群馬ならではの」新しい学びの形づくりを一層推進できると考えています。

さらに

※以下は取組の例です。

「ニューノーマル GUNMA CLASS PJ」による少人数の学習形態では・・・

自己決定

学習方法の選択



ノートで、端末で、一人で、友達などと、学び方の選択を子供に任せやすくなります。

対話交流

表現、実践機会の増加



学級全体を前にした発言の機会を一人一人に保障し、互いに学び合う関係を築きやすくなります。

試行錯誤

体験活動の充実



一人一つの教材や実験器具等を使ってじっくり考える学習環境を作りやすくなります。

「ぐんま教育ビジョン実現PJ」による一定規模・複数担当の学習形態では・・・

自己決定

学習活動や学習課題の選択

教室or校庭

求め方orその理由まで



教員が複数いる安全・安心な環境の中で、複数の場の活動や、複数の課題から子供が選ぶ授業を計画しやすくなります。

対話交流

出会う考えの広がり



子供同士、関わりやすい教員との交流から、多様な考えに触れ、学びを広げる機会を作りやすくなります。

試行錯誤

思考を促す支援の充実



インクルーシブ教育を視野に、多様な子に対して教師の個性を生かした直接・間接的な支援を行いやすくなります。

児童生徒が思いや願い、課題意識を持ち、学びの形を選択できることが大切です。

新しい学びの素地となる児童生徒支援



一人一役で活躍の機会を設定

クラス集団での適切な競争機会の設定

新しい学びの素地となる教員支援



比較なく、教員のよさを足し合わせる学級経営

参観と実践を足し合わせる授業改善

学級編制等は別に、単元・題材の特性等に応じて学習形態を工夫することはこれまでと同様に可能です。

群馬県教育委員会（学校人事課・義務教育課）